

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-149	小学校	国語科	国語	第6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 605 国語 606	ひろがる言葉 小学国語 六上 ひろがる言葉 小学国語 六下		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法（第二条の第1～第5号）に示された「教育の目標」と、学習指導要領に示された「教科目標」の達成を目指し、以下の方針に基づいて編修しています。

- ・身近な言語活動を通して、幅広い知識と教養を身につけます。
- ・自己の価値を尊重し、創造性を培います。
- ・公共の精神に基づいた、主体的な社会参画を促します。
- ・自然の仕組みを題材にした教材を通して、生命を尊び、自然を大切にする心を育てます。
- ・国際社会の平和と発展に寄与するとともに、我が国の伝統文化を尊重する態度を養います。

楽しく学び、言葉の力がつく教科書

言葉を豊かに学ぶことは、学び手が**主体的に言葉に関わり、言葉の力を協働的に獲得**していく行為です。

主体的に学ぶためには、そこに学ぶ楽しさがあるはずで、楽しみながら、心を育て、世界観を広げられる、**価値ある題材**との出会いを大切にして教材を選びました。

また、言葉を学ぶことは、単に技術を学ぶことではありません。自己を主体的に築くための母語を獲得し、協働的に生きていく民主的人格が育まれるためにも、**言葉の学びは必要**なのです。

これからの社会を生きる子どもたちは、さまざまな課題に直面します。多くの情報があふれる現代社会において、**情報とどのようにつきあっていくか、社会をいかに持続可能なものとしていくか、多様な人々が自分らしく生きる権利をどのように守るのか**。学び手が学ぶ楽しさを感じながら、言葉の力を獲得していくことで、これらの課題を解決する力を自ら獲得できるよう、この教科書を編修しました。



豊かな言葉の学びに向けた編修の特色

◇当該学年の学びのストーリーを大事にした教材配列

教科書を使って1年間の学習をしていくことは、学習者にとって、1年間の「言葉の学び」という物語の中を生きることです。それぞれの物語どうしが、学校という、**他者との協働の場**でいかされるように、それぞれの単元が相互に関わるように並べることで、**学習の流れや必然性を大切**にして、各領域が自然に結びつ

くようにこころがけました。

◇課題の設定、解決・探究ができる学習過程の提示と、効果的な学びを生むための重点過程の明示

各単元や教材の冒頭で学習意欲の喚起を行い、学習のてびきは、深い学びへと導くことを意識して構成しています。単元を通じて、学び手が、より能動的・探究的な学びができるような活動の流れをつくりました。

また、話す・聞く、書く教材においては、特に重点としたい学習過程を明示し、その単元の学びにおいてつきたい力がわかるようにしました。これにより学習指導の効率化が図れ、学習者にとっての効果的な学びを実現します。

◇思考力、判断力、表現力等と、それを支える知識及び技能の有機的な結合

領域の学習内容を豊かに学ぶための言語活動を、より活性化するための知識・技能を、単元間の小教材や付録で示しました。また、思考を整理したり、まとめたり、可視化したりするためのふせんやカード、ノートを使い方など、学習のツールを多く例示しました。

◇豊かな言葉の基礎となる読書教材、語彙教材の拡充

豊かな言葉の学習は、さまざまな本を読み、多様な言葉にふれることで広がります。各単元の学習から読書体験へとつながるよう、幅広いジャンルを対象として、紹介図書を充実させました。

また、日常の言語生活や他教科の学習での使用に資するような、語彙を豊かにするための工夫も施しています。

教材の選定について

◇日常の学習に活用

⇒『図に表して考えよう』(六上)

◇主体的な調べ学習、メディアリテラシー(ICT)

⇒『物語を作ろう』(六上)

『自分の考えを発信しよう』(六下)

◇地域に根ざす

⇒『地域の防災について話し合おう』(六上)

『パンフレットで知らせよう』(六上)

◇生き方を問う(平和・人生)

⇒『川とノリオ』(六上)

『伊能忠敬』(六下)

◇持続可能な開発のための教育(ESD)

⇒『雪は新しいエネルギー』(六上)

◇言語文化

⇒『「知恵の言葉」を集めよう』(六上)

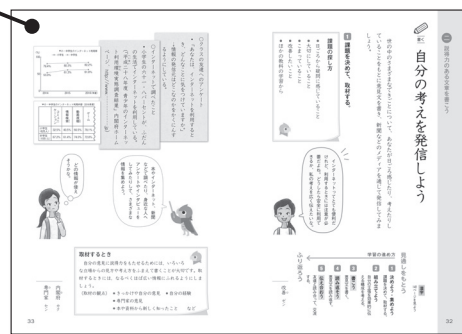
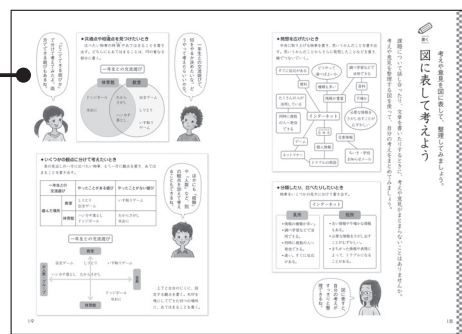
『言葉は時代とともに』(六下)

◇複数領域融合単元

⇒「筆者のものの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう」(六上)

「立場を決めて、主張を明確にしよう」(六上)

「『心の世界』について考え、自分の考えを伝え合おう」(六下)



2. 教育基本法との対照表

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
言語・情報	<p>■六上 図に表して考えよう 地域の防災について話し合おう パンフレットで知らせよう</p> <p>■六下 「うれしさ」って何?—哲学対話をしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『図に表して考えよう』では話し合ったり、文章を書いたりするときに、考えをまとめるために図を使う方法を学習する。情報の扱い方を知ることで、真理を求める態度が養える。(第1号) ●『地域の防災について話し合おう』『パンフレットで知らせよう』は、地域の防災について調べたことをパネルディスカッションの形式で話し合ったりパンフレットに書いたりする学習である。説得力のある資料の提示の仕方、伝えたい相手を想定して構成を考えることで、幅広い知識と教養を身につける態度を養う。(第1号) ●『「うれしさ」って何?—哲学対話をしよう』では、うれしいと感じた体験について、説明することを通して、抽象的な概念を言語化する哲学対話を進める。哲学的に深く考えることで、真理を求める態度を養う。(第1号) 	<p>上 P18-20, P66-71, P72-75</p> <p>下 P20-23</p>
	<p>■六上 春はあけぼの／漢字の広場① 三字以上の熟語の構成／主語と述語の対応をみる／雨／世代による言葉のちがひ／漢字の広場② 複数の意味をもつ漢字／「知恵の言葉」を集めよう／会話を広げる／漢字の広場③ 熟語の使い分け／6年生で読みたい本／言葉の木／言葉のまとめ／いろいろな文体で書く／漢字を学ぼう／五下までに学んだ漢字／「ここが大事」のまとめ／学ぶときに使う言葉</p> <p>■六下 言葉は時代とともに／漢字の広場④ 音を表す部分／書評を書いて話し合おう／敬意を表す言い方／漢字の広場⑤ 同じ訓をもつ漢字／日本語の文字／漢字の広場⑥ さまざまな読み方／伝えられてきた作品／翻訳家／6年生で読みたい本／言葉の木／言葉のまとめ／文章を解体する／時を表す言葉／日本生まれの漢字—国字／漢字を学ぼう／小学校で学んだ漢字／「ここが大事」のまとめ／学ぶときに使う言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『漢字の広場』①②③④⑤⑥は、熟語の構成、複数の意味をもつ漢字、熟語の使い分け、同訓異字など、漢字を扱ううえで覚えておきたいことを簡潔に示している。幅広い知識と教養を身につける助けとなる。(第1号) ●『主語と述語の対応をみる』では、推敲の観点を学習する。文の主語と述語が対応していないとき、どのように直したらいいか、練習問題を解いて実践的に方法を身につける。正しく文を直すスキルを身につけることで、幅広い知識と概念的な思考を身につけることができる。(第1号) ●『世代による言葉のちがひ』では、上の世代の人が使う言葉を耳慣れないと感じた経験を話し合い、世代による言葉の違いを考える。言葉の変遷に目を向けることで、幅広い知識と教養を身につける態度を養う。(第1号) ●『雨』は、数多くある雨に関係する言葉を探して、我が国の美しい四季と表現豊かな国語に関心を深め、伝統と文化を尊重する態度を育てる。(第5号) ●『春はあけぼの』では、枕草子の冒頭を音読し、我が国の美しい四季の趣を読み味わう。(第5号) ●『言葉は時代とともに』では、万葉集や枕草子など、1000年以上読み継がれている我が国の文学作品を読み味わい、人生観や季節感が時代を越えて人の心を打つことを学習する。さらに正岡子規や夏目漱石など、近代の文学作品も読み味わうことで、言葉の変化と、どのように言葉が生き続けていくかに深く関心を寄せることができる。(第5号) ●『書評を書いて話し合おう』では、書評を書いて、他の読者に図書を紹介する。さらに書いた書評を学級内で読み合い、交流する活動によって、幅広い知識と教養を身につけることができる。(第1号) ●『6年生で読みたい本』①③では、神話・詩・家族・戦争・友情・科学など多岐にわたる分野の図書が一覧でき、幅広い知識と教養を身につける手がかりになる。(第1号) ●『6年生で読みたい本』②は「命を守る・暮らしを守る」をテーマに掲げ、防災に関する書物を多く紹介し、主体的に社会に参画し、その発展に寄与する態度を育てる。(第3号) ●『6年生で読みたい本』④は「世界へはばたけ」をテーマに掲げ、国際的に活躍する科学者や音楽家、NGOの活動を紹介する書物を多く取り上げ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第3号) 	<p>上 P22-27, P46-48, P64-65, P76-77, P78-79, P80-82, P122-124, P140-143</p> <p>下 P24-31, P38-40, P64-67, P74-76, P108-110, P138-141</p>
思考・判断・表現	<p>■六上 自分に質問してみよう 地域の防災について話し合おう 教えて! あなたのとなっておき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『話すこと・聞くこと』の各教材は、社会形成に参画する基盤となるコミュニケーション力を養う。上巻冒頭に置く『自分に質問してみよう』は、学年の初めにあたり、質問カードに回答する形式で自己紹介をする。一人一問一答の形式で発表し合う言語活動とおして自他を敬愛する態度を形成する。(第5号) ●『地域の防災について話し合おう』では、パネルディスカッションの形式で地域の防災をテーマに討論する。パネリストの立場と主張を決め、調べた資料を根拠に主張するために、あらかじめ自ら調べ、説得力のある主張を組み立てる必要があり、幅広い知識と教養を身につける態度を養うことができる。(第1号) 	<p>上 P8-9, P66-71, P106-107</p>

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
思考・判断・表現	<p>話す・聞く</p> <p>■六下 「うれしさ」って何?—哲学対話をしよう 書評を書いて話し合おう 言葉と私たち ひろがる言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『教えて! あなたのとっておき』では、相手の「とっておき」を聞き出す設定でインタビューの仕方を学習する。聞いたあとで感想を伝え合うことや、自分の考えをまとめることなどを学習活動化して設置した。 ●『言葉と私たち』では、現在活躍している宇宙飛行士、作家、日本文学研究者が言葉について書いたメッセージを読む学習をする。言葉を学ぶ意義を考えることで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うことができる。話す・聞く・書く・読むの総合的な言語活動として設定している。(第1号) 	<p>下 P20-23, P64-67, P72-73, P112-115</p>
	<p>書く</p> <p>■六上 図に表して考えよう 随筆を書こう パンフレットで知らせよう 物語を作ろう</p> <p>■六下 自分の考えを発信しよう 書評を書いて話し合おう 言葉と私たち ひろがる言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『図に表して考えよう』では、発想を広げたいときや分類や比較をするときに、図を使って考えや意見をまとめる方法を学習する。さらに、授業中の板書を写して、自分の考えを書き加えるノート作りの学習へつなげる。幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度が養える。(第1号) ●『随筆を書こう』では、『薫風』『迷う』の随筆二作品を学習したあと、自分で随筆を書く活動をする。心を動かされた体験を思い出し、自分の感じ方や考え方をよく見つめて書くことで、豊かな情操と道徳心を培う。(第1号) また、生活感覚を大切に、自主・自律の基盤となる自尊感情を培うことから、創造性を育むことができる。(第2号) ●『パンフレットで知らせよう』では、パンフレットの形式に、地域の防災や、郷土の偉人について調べたことをまとめて、発信する。誰にどんな情報を伝えたいか、文字の大きさや分量、写真や図表の用い方など、どうすれば読み手にとってわかりやすくなるか、工夫の仕方を考えることから、自他を敬愛し、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができる。(第3号) ●『物語を作ろう』では、交差点を大勢の人が横断している写真を見て、写真の中の人物の物語を想像して書く学習をする。筋の展開を考え、表現を工夫して書くことで、創造性を培うことができる。(第2号) 	<p>上 P18-20, P43-45, P72-75, P112-117</p> <p>下 P32-37, P64-67, P72-73, P112-115</p>
	<p>読む</p> <p>■六上 風景 純銀もざいく あの坂をのぼれば 薫風 「迷う」 雪は新しいエネルギー 川とノリオ イナゴ 作家 ブラッキーの話</p> <p>■六下 あなたはどうか感じる? ぼくの世界、君の世界 きつねの窓 言葉と私たち 伊能忠敬 ひろがる言葉 子どもたちを救いたい—オードリー— ヘプバーンの願い 正岡子規</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●文学作品は、登場人物と一体になって、その行動や感情を追体験し、それによって得た感動が、豊かな情操や道徳心を育てる。こうした体験を可能にする作品として『あの坂をのぼれば』『川とノリオ』『きつねの窓』『伊能忠敬』を選定している。(第1号) ●『あの坂をのぼれば』では、坂の向こうにある海を見たい気持ちに駆られて少年はいくつもの坂を越える。歩き続けるか迷ったときに、海鳥を見て、海が近いことを確信する。少年の心の動きを読み、豊かな情操を培う。(第1号) ●『薫風』は、薫風という言葉から、故郷の自然と、家族の思い出を語り、自作の俳句で結ぶ随筆である。伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養う。(第5号) ●『迷う』は、人間や動物の迷う場面を考え、先のことがわからないから迷う、わかっていたら生きる楽しみがないと、迷いながら生きることを応援する随筆である。個人の価値を尊重して、自主・自律の精神を養う。(第2号) ●『川とノリオ』では、戦争で両親を失った少年の心情の揺れを詩的に描いた作品で、豊かな情操と道徳心を培う。(第1号) 国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てる。(第5号) ●『きつねの窓』は、猟師が子狐を追いかけた山で、染め物屋に入り、失ってしまったものが見える不思議な窓を手に入れる。登場人物の心情を追って、悲しみや喪失感に共感するとともに、異世界を往還するファンタジーの形式に気づく教材化を施し、豊かな情操を培うことができる。(第1号) ●『伊能忠敬』は、江戸時代に徒歩で全国を測量し、地図を完成させた伊能忠敬の伝記であり、真理を求める態度を養う。(第1号) また、勤労を重んずる態度を養う。(第2号) ●説明的な文章の教材として、『雪は新しいエネルギー』『ひろがる言葉』を取り上げている。説明的な文章を読解することにより、論理的な思考力を養い、知識・教養を身につける。(第1号) ●『雪は新しいエネルギー』では、雪をエネルギー源として、施設の冷房に活用する取り組みを紹介している。雪のエネルギー利用によって、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化の対策ができるという新しい提案であり、環境の保全に寄与する態度を養う。(第3号) ●『あなたはどうか感じる?』では、同じ物事やできごとを、他者と自分が違う感じ方をすることについて、感じ方が違う原因を考える。他者と自分の違いを考えることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。(第3号) ●『ぼくの世界、君の世界』では、主観客観問題を考える哲学に取り組む。自分が見ている世界、感じている世界は自分の主観世界であって、人にはそれぞれの主観世界があることに気づく学習である。自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。(第3号) ひいては、他国を尊重し、国際社会の平和に寄与する態度を養う。(第5号) ●『ひろがる言葉』では、小学校6年間の国語学習を振り返り、卒業式で自分に贈りたい言葉を選び、発表するという、話す・聞く・書く・読むの言語活動である。 ●冒頭の鑑賞詩教材は、学年の初めに、そのリズムを声に出して味わい、豊かな情操を培うことを意図している。『風景 純銀もざいく』『イナゴ』は、自然に親しみ、生命を尊重する態度を育てる。(第4号) また、友達と声を出し合い、聞き合うことで、豊かな情操を育てることができる。(第1号) 	<p>上 P10-12, P13-17, P28-31, P32-42, P50-63, P84-105, P108-109</p> <p>下 P6-7, P8-19, P42-63, P78-101, P112-115</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された義務教育の目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

ユニバーサルデザインへの配慮

学びに向かう力を大切に、できるだけ図や表、写真や絵を用いて、学習内容が端的につかめるように教材の構成や紙面をデザインしています。

◇特別支援

特別支援が必要な学習者への配慮として、全体を通しての統一感や一体感、読みやすさ、わかりやすさを意識したレイアウト、安心感と安定感のある色づかい、トーンバランスを心がけ、フォントには、ユニバーサルデザインに配慮した、新しい教科書体を使用しています。

◇カラーユニバーサル

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

◇多様性への理解・パラリンアート

社会の多様性にふれ、さまざまな人々と共存・共生しているという実感を得られるような教材を選ぶとともに、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

◇地球となかよし

教科書印刷に、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

◇分冊による軽量化

子どもの身体の発達状況を考慮して、全学年を分冊とし、1冊あたりの重量が軽い教科書にしています。分冊としたことにより、全体のページを増やし、単元とびらやてびき、付録を充実させています。

他校種・他教科との連携

◇小中の接続

第5・6学年では、中学校国語との接続も意識し、焦点を絞った見方で全体を捉えて課題を解決できる（重点化・焦点化）力を身につけられるような単元や教材の構成も取り入れています。

◇教科間の連携

中・高学年では、他教科と同じテーマについて、国語科としての見方・考え方を働かせることによって、論理の展開や思考の組み立てなど、学びの基礎を育む構成にしました。

*学習する内容の連携

同じ教材や題材、学習内容を、他教科と連携して扱えるような工夫をしています。

・地球温暖化、エネルギー問題（＝社会） ・地域防災（＝社会） ・伊能忠敬（＝社会、道徳）

*教科を横断したテーマの設定

学習指導要領で重視されているテーマを、教科横断的に扱えるようにしています。

*育てたい資質・能力の連携

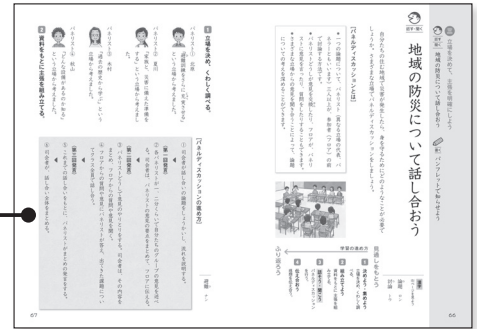
各教科で扱える以下のような資質・能力を、教科書の中で育めるように意識しました。

- ①言葉で表す力（言語的リテラシー）
- ②自ら考える力（論理的思考力・問題発見解決能力・メタ認知力）
- ③共に学ぶ力（人間関係形成力）

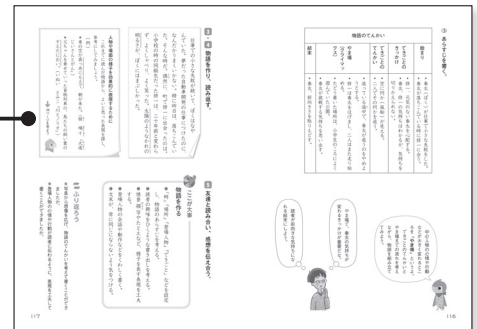
- ・各学校でのカリキュラム・マネジメントに資するよう、柔軟に扱える教材を配しました。
⇒『図に表して考えよう』（六上）

単元内容

- ・学習過程を明確にした教材を配置するとともに、**重点的に扱う学習の過程を設定して**、知識・技能を効率よく学べるようにしました。その一方で、学んだ知識や技能が、**生活のさまざまな場面で生きて働く力**となるための配慮も行っています。
⇒『地域の防災について話し合おう』（六上）
『パンフレットで知らせよう』（六上）

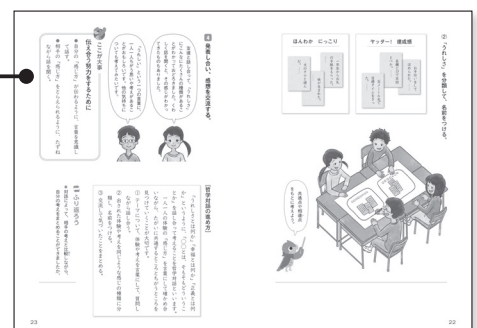
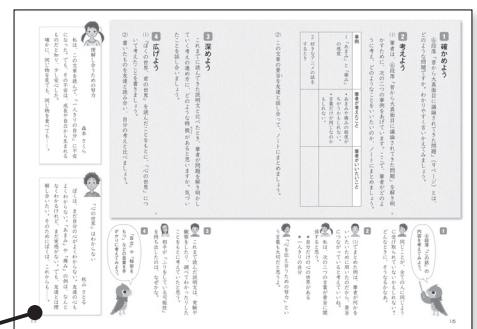


- ・多様で活発な言語活動で、「言葉の力」を高めることができるように配慮しました。
⇒『物語を作ろう』（六上）
- ・確実に身につけたい「言葉の力」については、各教材の「**ここが大事**」に端的にまとめています。



主体的・対話的で深い学びのために

- ・学習者が主体的に学習に取り組み、また自学もできるように、**学習の課題をわかりやすく可視化する工夫**を取り入れました。
- ・「学習のてびき」では、身につけたい言葉の力に対して**適切な言語活動**を設定するとともに、言語活動そのものが、**自ら課題を見つけ、それを解決する過程**となり、深い学びに結びつくことを意識して構成しています。
⇒『ぼくの世界、君の世界（学習のてびき）』（六下）
- ・親しみやすいキャラクター等を用いて、**学習者の思考の深まりを支援し、主体的、対話的な学びへの道筋**をつけています。

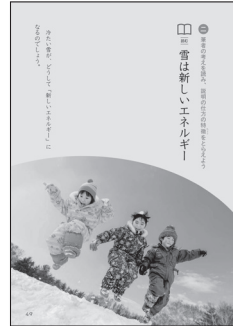
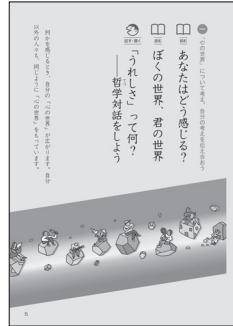


見通しをもったり、振り返ったりするために

- 教科書巻頭の「六年生で学ぶこと」と最終単元「出会った言葉をふり返ろう」により、**学びの見通しと振り返り**ができるようにしています。



- 「単元とびら」により、**学習への意欲を喚起**し、その単元に積極的に取り組もうとする姿勢を促します。



言語文化を継承し、担い手になっていくために

- 日常生活の中で、**言語文化を意識したり、見直したり**できるように配慮しました。

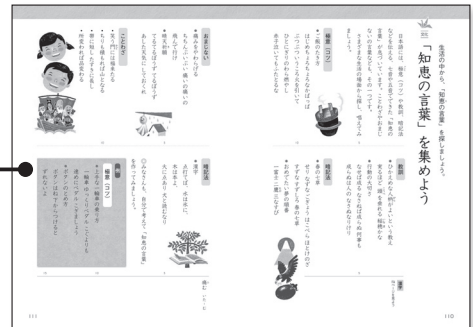
⇒『春はあけぼの』『雨』

『「知恵の言葉」を集めよう』（六上）

『言葉は時代とともに』（六下）

- 言語文化をただ受け取るだけでなく、その**担い手となる自覚**をもてるように活動的教材を配しました。

⇒『随筆を書こう』（六上）



語彙を増やし、情報を適切に扱う

- 語彙を質、量ともに**充実**させる教材を拡充しました。また、**情報の扱い方**に関する教材を配置しています。

⇒『言葉の木』（六上下）・『言葉のまとめ』（六上下）

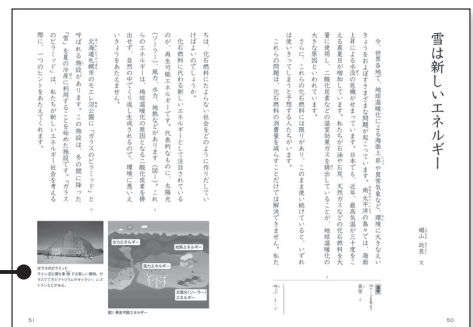
他教科との関連、基礎教科としての位置づけ

- 国語は言葉の働きについて学ぶ教科であるということを意識して、**全ての教科の基礎となる言葉の知識・技能を明確**に示しました。

- 他教科の学習との**関連**にも配慮しています。

⇒『雪は新しいエネルギー』（六上）

『伊能忠敬』（六下）



- 調べ学習など、**他教科への学習の広がり**を意図した教材も配置しました。

⇒『地域の防災について話し合おう』（六上）

『パンフレットで知らせよう』（六上）

2. 対照表

教材名	学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間
	知識・技能	思考・判断・表現		
六上				
言葉で伝え合おう 自分に質問してみよう 風景 純銀もざいく あの坂をのぼれば	(1)ア (1)オ, ケ (1)カ	A(1)ア A(2)ア C(1)エ C(2)イ C(1)エ C(2)イ	P8-9 P10-12 P13-17	2 (話聞2) 1 2
図に表して考えよう	(2)イ	B(1)ア B(2)ア	P18-20	3 (書<3)
一 筆者のものの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう 春はあけぼの 薫風 「迷う」 随筆を書こう	(3)ア (1)カ (1)オ, ク	B(1)ア, カ B(2)ウ C(1)ア, ウ C(2)イ B(1)ア, イ B(2)ウ	P22-27 P28-42 P43-45	3 (書<1) 3 5 (書<5)
漢字の広場 ① 三字以上の熟語の構成	(1)オ		P46-47	1
五年生で学んだ漢字 ①	(1)エ	B(1)イ B(2)ア	P48	1 (書<1)
二 筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう 雪は新しいエネルギー	(2)ア, イ	B(1)イ, ウ B(2)ア C(1)ア, ウ C(2)ア	P50-63	5 (書<2)
主語と述語の対応をみる	(1)カ		P64-65	2
三 立場を決めて、主張を明確にしよう 地域の防災について話し合おう パンフレットで知らせよう	(1)オ (2)イ	A(1)オ A(2)ウ B(1)イ, ウ, エ, オ B(2)ア	P66-71 P72-75	6 (話聞6) 4 (書<4)
雨	(3)ウ	B(1)ア B(2)イ	P76-77	1 (書<1)
世代による言葉のちがひ	(3)ウ		P78-79	1
漢字の広場 ② 複数の意味をもつ漢字	(3)ウ		P80-81	1
五年生で学んだ漢字 ②	(1)エ	B(1)イ B(2)ア	P82	1 (書<1)
四 すぐれた表現の効果を考え、登場人物の心情を読もう 川とノリオ	(1)ク, ケ	A(1)ア, オ A(2)ア C(1)イ, エ C(2)イ	P84-105	7 (話聞2)
教えて! あなたのとおき	(1)ア	A(1)エ A(2)イ	P106-107	2 (話聞2)
◆詩を味わおう イナゴ	(1)オ	C(1)イ C(2)イ	P108-109	1
『知恵の言葉』を集めよう	(1)オ (2)ア	B(2)ア	P110-111	1 (書<1)
五 てんかいを考えて、表現を工夫して書こう 物語を作ろう	(1)カ, ク	B(1)イ, ウ, オ B(2)イ	P112-117	5 (書<5)
会話を広げる	(1)ア	A(1)エ, オ A(2)ウ	P118-121	3 (話聞1)
漢字の広場 ③ 熟語の使い分け	(1)オ		P122-123	1
五年生で学んだ漢字 ③	(1)エ	B(1)オ B(2)ア	P124	1 (書<1)
六下				
一 「心の世界」について考え、自分の考えを伝え合おう あなたはどお感じる? ぼくの世界, 君の世界 「うれしさ」って何?—哲学対話をしよう	(2)ア, イ (2)ア, イ (2)ア	C(1)オ C(2)ア B(1)イ, ウ, エ B(2)ア C (1)ウ, オ C(2)ア A(1)エ, オ A(2)ウ B(1)ウ B(2)ア	P6-7 P8-19 P20-23	1 6 (書<1) 4 (話聞3, 書<1)
言葉は時代とともに	(3)イ, ウ	B(1)ウ, カ B(2)ア	P24-31	5 (書<2)
二 説得力のある文章を書こう 自分の考えを発信しよう	(1)カ (2)ア	B(1)ウ, エ, オ, カ B(2)ア	P32-37	6 (書<6)
漢字の広場 ④ 音を表す部分	(3)ウ		P38-39	1
五年生で学んだ漢字 ④	(1)エ	B(1)イ B(2)ウ	P40	1 (書<1)

三 登場人物の変化を読み、自分の考えをまとめよう きつねの窓	(1)オ	B(1)ア, ウ B(2)イ C(1)エ, オ C(2)イ	P42-63	7 (書<2)
書評を書いて話し合おう	(1)イ (3)オ	A(1)イ, ウ A(2)ア B(1)ウ, エ B(2)ア C(1)オ C(2)イ	P64-67	6 (話聞2, 書<2)
敬意を表す言い方	(1)キ		P68-71	2
言葉と私たち	(1)ウ	A(1)ア A(2)ア B(1)ア, ウ B(2)ア C(1)ウ C(2)ア, ウ	P72-73	1 (話聞1, 書<1)
漢字の広場 ⑤ 同じ訓をもつ漢字	(1)オ		P74-75	1
五年生で学んだ漢字 ⑤	(1)エ	B(1)カ B(2)ウ	P76	1 (書<1)
四 伝記を読んで、人物の生き方について自分の考えをま とめよう 伊能忠敬	(1)オ	B(1)ア, ウ B(2)ア C(1)エ, オ, カ C(2)イ	P78-101	11 (書<3)
日本語の文字	(3)ウ		P102-107	2
漢字の広場 ⑥ さまざまな読み方	(1)オ		P108-110	1
五 出会った言葉をふり返ろう ひろがる言葉	(1)イ	A(1)ア, オ A(2)ア B(1)ウ, カ B(2)ウ C(1)ウ C(2)ウ	P112-115	9 (話聞4, 書<4)

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-149	小学校	国語科	国語	第6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 605 国語 606	ひろがる言葉 小学国語 六上 ひろがる言葉 小学国語 六下		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
下巻 146	日本生まれの漢字—— 国字	2	漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒知識・技能(3) ウ	1
下巻 166	中学校で学ぶ特別な読 み方の言葉	1	語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこ と。 ⇒知識・技能(1)オ	1
合 計				2

(「類型」欄の分類について)

- 1 ……学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2 ……学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容